

【徳島県美馬市】

校務DX計画

美馬市ではこれまで、教育委員会ファイルサーバの活用や校務支援システム、保護者連絡アプリの導入、タブレット端末での授業支援アプリや学習支援アプリ等の活用などにより、デジタル化の推進による利便性の向上やセキュリティ対策の強化を図ってきただけでなく、教職員の省力化や業務改善を図ってきた。

しかし、国が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」(以下、「チェックリスト」という)に基づく自己点検結果により、本市の学校現場においてクラウドサービスを十分に活用できていない状況や、ペーパーレス化が浸透していない状況であることが分かり、依然として紙ベースの資料を使用している実態が見受けられた。

校務の円滑化・効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要があるため、上記の課題を踏まえつつ、具体的な取組みを次のとおり進めていく。

(1)クラウドサービスを活用し、職員会議資料や教材のペーパーレス化の促進

上記チェックリスト中、「職員会議等の資料をクラウド上で共有し、ペーパーレス化していますか」、「教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか」の各項目では、「一部している」という回答が学校現場の半数以上を占めていた。クラウドサービスや職員会議資料、教材の電子化データの活用は、業務負担の軽減につながることから、今後もICT支援員が学校を訪問し、クラウドサービスの活用方法に関する研修を重ねていき、教職員が日常的に授業支援アプリ等のクラウドサービスを活用できるように進めていく。

(2)FAXを利用したやりとりの廃止や押印の原則廃止の促進

上記チェックリスト中、「業務にFAXを使用していますか」の項目では、大半の学校が「使用している」と回答した。FAXを利用したやりとりは、履歴が残らず確認に時間がかかることや、担当者が不在の場合に業務が中断してしまう可能性があることから、これまでのFAXを利用したやりとりを廃止し、メールの定型文を利用することで、校務の効率化を図っていく。

また、統合型校務支援システムを活用し、指導要録、出席簿、学校日誌、保健日誌等の公簿及び公文書の電子化を推進し、押印の原則廃止を促進していく。

(3)デジタルサイネージの利用による効率化の促進

これまで担当者が職員室の黒板に板書していた行事予定を、グループウェアに入力した行事予定をスクリーンなどに投影することで、校務の効率化を図っていく。これにより、教職員同士の情報共有が図られ、職員会議や朝・終礼の時間短縮にもつながるため、ICT支援員を通じて各学校での活用の普及を図っていく。

以上の取組みにより、校務の効率化を図ることで、教職員の業務負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保できるよう、教職員の働き方改革の推進を図っていく。